

東海大学チャレンジセンター 2020年度 チャレンジプロジェクト募集要項

プロジェクトは、「良い企画に合わせて時限的に人が集まる」という前提で行われる活動であります。東海大学チャレンジセンター（以下「チャレンジセンター」という。）では、

- (1) 対象を見据え、その存在を掘り下げ、可能性を広げる力（自ら考える力）
- (2) 多様な人々の中で生き、その集団の形成・維持に寄与する力（集い力）
- (3) 困難な問題に主体的に向き合い、解決・達成に向け踏み出す力（挑み力）
- (4) 目標達成の途中で生じる失敗や挫折を乗り越えて、目標に近づく力（成し遂げ力）

を体得する実践的な活動を行っています。

チャレンジセンターでは、社会で日常的に行われている「プロジェクト」という活動形式に参加する機会を通じて、『自ら考える力、集い力、挑み力、成し遂げ力』を培いながら、周り（社会）の人々からの信頼を得る活動^{※1}とはどのようなものかを実践的に学び、そのことを通じて「自分の周り（社会）の人々の生活を豊かで生き生きとしたものにすることで自分も幸せになれる」という思想を学生に培ってほしいと考えています。

つまり、チャレンジセンターが支援するプロジェクト活動は、授業と並ぶ大学教育のプログラムであり、「活動を通して社会的実践力を身に付けること」を目的として設定しています。そこで、チャレンジプロジェクトの採択基準では、「活動においてどのように4つの力を学ぶのか」を重視しています。

また、「重視する学びのテーマ」を記載する欄を「プロジェクト計画書」に設け、前年度からの継続的な活動（イベント開催、大会参戦など）であっても、これまでの成果・反省点を踏まえ、その年度で新たに「何をどのように学ぶか」をしっかりと考えて盛り込んでいくかどうか、その「学びの姿勢」を審査します。

活動実施における目的として学内外からの高い評価を受けることは大切なことです。しかし、チャレンジセンターの教育プログラムでは結果よりもプロジェクトがそこに辿りつくまでのプロセスにこそ成長の機会があり、さらに、それぞれの活動を通して社会貢献活動を行うことが重要であると考えています。

※1 信頼には「誰からの」という意味で様々な種類があります（メディア等から評価されるもの、地域・家族・友人からの信頼など）。それぞれの領域で信頼を得る活動であることが、プロジェクトの公共的価値（多くの人々の幸せな生活の維持に貢献する）を意味することになります。

信頼を得るためには、自分たちの活動を周り（社会）の人々に広く知らせて理解していただき、できれば参加していただく必要があります。また、信頼を得られたかどうかを示すためには、第三者によって自分たちの活動のどのような点を評価されたのかを具

体的に示すことが求められます。例えば、「面白い」「珍しい」というだけでマスコミに取り上げられただけでは信頼を得たことにはならず、どのような評価が行われたかが重要です。地域の人々から協力を依頼されたり、感謝されたりすることも信頼を得られたことの証明と言えます。

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）にプロジェクトの立ち上げを希望する学生は、次の内容をよく読んで応募してください。不明点等は、各校舎の担当窓口で尋ねてください。

1. 応募資格（対象者）

東海大学に在籍するすべての学生・大学院生に応募資格があります。

2. 応募要件

学生グループによる自主的・創造的な企画であり、次の(1)～(10)の応募要件に適合している必要があります。

(1) プロジェクトの応募時に、活動するメンバーの数が次の要件を満たしていること。

① 湘南校舎：30名以上

② 代々木・高輪・清水・伊勢原・熊本・札幌校舎：20名以上

採択後の構成メンバー数が、湘南校舎 50 名以上、湘南校舎以外で 30 名以上集まった場合には、増額申請することができます。

(2) 年度単位で計画が完了し、1年間を通じた企画内容であること。

(3) 企画内容はプロジェクトを実施するメンバーが立案したものであること。

(4) 支援金額に寄らず、実行が可能なプロジェクトであること。また、計画書の内容が著しく変更されないプロジェクトであること。

(5) 応募するプロジェクト活動の内容やその一部が、他の支援金等に採用されている場合は、「予算計画書」の「(C) 他からの収入」に記載すること。

(6) 実施メンバーが所属する学科（または専攻・課程）及び学年は複数にわたること。

(7) 公認クラブ・一般サークルの活動と異なるプロジェクトであること。

(8) 地域活性に志向した社会貢献活動を含むこと。

(9) グローバルな視点を持った貢献活動であること。

(10) チャレンジセンター主催の募集説明会に出席すること。

3. 支援金額

支援金額の申請上限は、原則 200 万円です。

200 万円を越える場合には特別申請が必要です。

最終的な支援金額は、

- (1) 支援金査定額…申請金額に対して、審査会が査定する金額
- (2) 審査結果加算額…審査時に評価の高かった上位 5 プロジェクトに対して増額する金額
- (3) 修了認定^{※2}率加算額…修了認定率の高かったプロジェクトに対して増額する金額
- (4) メンバー確定額…5 月上旬のメンバー数に応じて増額する^{※3}金額

以上の合計を「支援金確定額」として 6 月下旬頃に決定されます。なお、メンバー表提出時に、構成メンバーの数が応募時の要件を満たさない場合には、支援金額を原則として 5 割減とします。

※2 チャレンジプロジェクトが以下の条件を満たし、コーディネーターから 1 年間の活動が評価され、推薦されたプロジェクトメンバーに授与します。

- ① チームとしての条件
- ② 個人としての条件

※3 メンバー確定額は、メンバー表の提出時（2020 年 5 月 7 日）に、湘南校舎 50 名以上、湘南校舎以外で 30 名以上のメンバーが集まった場合、下記の人数に応じて査定金額から増額申請することができます。但し、応募時は増額申請することはできません。また、特別申請をしたプロジェクトは対象外とします。

湘南校舎：50～69 名＝5% 70 名以上＝20%

湘南校舎以外：30～49 名＝5% 50 名以上＝20%

特別申請は 2019 年度に採択されたプロジェクトで、2020 年度の応募時に支援金希望金額が 200 万円を超える場合に申請することができます。なお、特別申請の上限は 1,000 万円とします。

特別申請の応募方法は、プロジェクト計画書の提出期限までに支援金特別申請書（チャレンジセンターホームページよりダウンロード）を提出してください。予算についてはプロジェクト計画書に組み込み、さらに活動実績の水準を説明できる資料を添付してください。

[注意事項]

2019 年度から継続して応募し採択されたプロジェクトが、2019 年度に著しく信頼を損

なう行為があった時には、2020年度の支援金額を減額する等のペナルティーを課すこともあり得ますので、注意してください。

4. 募集期間

2019年9月17日（火）～2019年10月5日（土）

5. 募集説明会及び応募方法

募集にあたり、チャレンジセンター主催の説明会に必ず出席してください。開催日時・内容等の詳細はチャレンジセンターHPを参照してください。応募する際は、所定の様式をチャレンジセンターHPよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ各校舎担当窓口にエクセルデータで直接提出してください。

チャレンジセンターHP：<http://www.u-tokai.ac.jp/challenge/>

6. 審査

申請されたプロジェクトは、チャレンジセンターが設置する審査委員会にて審査（ヒアリングを含む）されます。その後、チャレンジセンター専門委員会及びチャレンジセンター運営委員会が、支援金額を含め審議します。

審査基準は次のとおりです。

[プロジェクト計画書に対する審査のポイント]

(1)「達成目標」と「重視する学びのテーマ」が明示され、これらを実現するためのプロセス、必要な資源（資金、時間、モノなど）が明確に示されているか。

2019年度のプロジェクトが継続して応募する場合は、2019年度の成果・反省点を踏まえ、新しい「重視する学びのテーマ」を考えているか。

(2)他の組織や人々とどのように連携し、そのことを通じて何を学ぶかをよく考えているか。

(3)他の組織や人々から信頼を得るために、自分たちの活動が社会と連携しているかをよく考えているか。

(4)目標を達成するために必要な知識・技術の修得や活用方法をよく考えているか。

(5)既存のプロジェクトやこれまでに活動実績のある団体は、2018年9月～2019年8月までの1年間にどのような実績を残したか。

7. 審査結果（プロジェクトの採否）の発表

1月中旬を目安に、プロジェクトリーダーに対してメールでの連絡、チャレンジセンターHPに掲載及び東海大学新聞等を通じて発表します。

8. 採択後の遵守事項

- (1) プロジェクト活動における移動手段は、原則公共交通機関を利用すること。
- (2) 各プロジェクトは、プロジェクトとして採択された後、オリエンテーションを開催し、チャレンジセンター及びプロジェクト活動のルール等をメンバーに周知すること。
- (3) 各プロジェクトは、プロジェクトミーティング及び幹部ミーティングを定期的に行うこと。
- (4) 各プロジェクトの代表者は、原則月1回開催されるプロジェクト協議会へ出席すること。
- (5) 各プロジェクトは、チャレンジセンターが開催する報告会において、プロジェクト活動の成果を発表すること。
- (6) 各プロジェクトは、各校舎で開催される建学祭（湘南校舎はホームカミングデーを含む）において、企画や展示を実施（模擬店は含まない）すること。
- (7) プロジェクト活動の結果・成果等は、発生した段階で速やかに各校舎担当窓口へ報告すること。また、結果・成果及び会計の最終報告は、指定された期日までに必ず完了すること。
- (8) 各プロジェクトは、チャレンジセンターが指定した期日までに各種報告書を提出すること。
- (9) 各プロジェクトは、プロジェクトの活動を紹介するHPを立ち上げること。

9. サポート体制

各プロジェクトには、プロジェクトコーディネーターとプロジェクトアドバイザーが配置されます。

(1) プロジェクトコーディネーター【職員】

プロジェクトコーディネーターは、プロジェクト活動全般を支援します。

[コーディネーターの主な業務]

- ① プロジェクト活動の支援及びメンバーに対する助言
- ② プロジェクト活動に関わる各種書類の確認（報告書等）
- ③ 活動時に発生した事故やトラブル等についての報告

(2) プロジェクトアドバイザー【教員（ただし非常勤は除く）】

プロジェクトアドバイザーは、専門的な知識及び技能を有し、プロジェクト活動に対して助言・指導を行います。

10. その他

- (1) 申請書に記載する個人情報は、プロジェクトに関する内容について、本学の担当部署から問い合わせをする目的のみに利用し、それ以外の目的で利用することはありません。
- (2) 採択されたプロジェクトについては、プロジェクト内容や代表者名等の情報を本学の広報において利用することがあります。
- (3) 採択の可否にかかわらず、提出された申請書は返却しません。

11. 担当窓口

| | | |
|-------|---|-----------|
| 湘南校舎 | ： | チャレンジセンター |
| 代々木校舎 | ： | 代々木教学課 |
| 高輪校舎 | ： | 高輪教学課 |
| 清水校舎 | ： | 清水教学課 |
| 伊勢原校舎 | ： | 伊勢原教学課 |
| 熊本校舎 | ： | 九州教学課 |
| 札幌校舎 | ： | 札幌教学課 |

以上